



414
A 263
416



六月二十二日午後六時十分 西多夜

黒田冬彦

安田権大書記官

福田云々ノ義西郷極メテ曰意即今高知
ノ情実静穏ニ変ジタレモ尚嚴密シ要スルハ
兼テ閣下ノ所見込ナレハナリ仍テ下官ハ直ト工
京大久保宛儀等へ陳述セシ処何レモ異存更ニ
コレナク乍然今日西郷上京ノ積リニ相成能故明
日朝確乎返辭致ス可キ旨弟知ス右ニヨリ手順
等直子ニ取調ソレソレ實地ニ出發ノ積リ甚
後路意外相成四國地トノ後急シ決レテ處置
セラル、ノ所見込何レモカンセラレタルヨウスニウ
カガハル此故不取敢工申ス

開石吏



